

■TCK 女王盃 (JpnIII) アラカルト (過去全 20 回の分析)

※第 1 回 (平成 10 年) から第 6 回 (平成 15 年) までは大井ダ 2,000m で実施
※記録は平成 30 年 1 月 1 日時点

■ 1 番人気に推された馬は堅実

単勝 1 番人気馬は 8 勝、2 着 7 回、3 着 3 回で 3 着内率が 90.0%、単勝 2 番人気馬は 7 勝、2 着 3 回、3 着 1 回で 3 着内率が 55.0%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 2 回、3 着 4 回で 3 着内率が 40.0%となっている。単勝 1 番人気馬が非常に強いレースと言える。

■ 半数の 10 回で 3 番人気以内の馬がワンツー

過去 20 回のうち 17 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を取めている。また、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 10 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 1 回ある。

■ 7 歳以上馬は優勝例なし

馬齢別の勝利数を見ると、4 歳が 7 勝、5 歳が 8 勝、6 歳が 5 勝となっている。7 歳以上馬は第 3 回のマジックリボン (7 歳)、第 18 回のアクティビューティ (8 歳)、第 19 回のパワースポット (8 歳) による 2 着が最高着順である。

■ レマーズガールとメーディアが“連覇”を達成

TCK 女王盃において 2 回以上の優勝経験があるのは、第 7 回と第 8 回を制したレマーズガール、第 16 回と第 17 回を制したメーディアの 2 頭で、いずれも 2 年連続の優勝である。

■ 外国産馬は 5 勝

外国産馬は第 5 回のレディバラード、第 7 回ならびに第 8 回のレマーズガール、第 9 回のグラブユアハート、第 14 回のラヴェリータと、4 頭が延べ 5 勝している。

■ 優勝馬ならびに連対馬の 7 割は JRA 所属馬

所属別成績を見ると、地方所属馬は 6 勝、2 着 6 回、3 着 10 回、JRA 所属馬は 14 勝、2 着 14 回、3 着 10 回となっている。ちなみに、優勝を果たした地方所属馬は第 15 回のハルサンサンが最後である。

■ 騎手別の歴代最多勝記録は「2」

騎手別の勝利数を見ると、2 勝の今野忠成騎手、武豊騎手、濱中俊騎手がトップタイとなっている。

■ 調教師別の歴代最多勝記録も「2」

調教師別の勝利数を見ると、笹田和秀調教師、湯浅三郎調教師がトップタイ。

■ 1 枠と 4 枠は未勝利

枠番別勝利数を見ると、6 勝の 7 枠が単独トップ。4 勝の 5 枠と 6 枠が 2 位タイ、3 勝の 2 枠が単独 4 位となっている。なお、1 枠と 4 枠は未勝利だ。また、馬番別勝利数を見ると、3 勝の 8 番が単独トップ。2 勝の 2 番、7 番、10 番、14 番が 2 位タイだった。ちなみに、未勝利の馬番は 1 番と 15 番だけである。

<伊吹雅也>